

別紙様式 1

令和 6 年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立南部防災館	施設所在地	海部郡海陽町浅川字西福良 4 3
指定管理者名	海陽町	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設所管課	南部総合県民局 地域創生防災部	【連絡先】	0884-74-7274

1 施設の概要

設置年月日	平成22年5月1日
設置目的	県民の防災意識の高揚及び防災知識の普及を図るとともに、本県の南部の地域における災害時の円滑な防災活動に資するために設置。（徳島県立南部防災館の設置及び管理に関する条例第 1 条）
施設内容	対象の施設は、徳島県立南部防災館管理運営に関する基本協定書第 6 条に基づく次に掲げる施設及び備品。 本 館：鉄筋コンクリート造 2 階建及び敷地面積約1,005㎡ 駐車場：約 9 9 5 ㎡ 物 品：備品
利用料金等	無料
開館日・休館日等	供用時間：9：00～17：00 休館日：月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）、毎月の第 1 火曜日（その日が休日に当たる場合を除く）、1 月 1 日から 1 月 4 日まで及び 1 2 月 2 8 日から 1 2 月 3 1 日まで

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	徳島県立南部防災館の設置及び管理に関する条例第 4 条に基づく次に掲げる業務。 ・ 防災に関する意識の啓発及び知識の普及を行うこと。 ・ 防災及び災害に関する資料の展示を行うこと。 ・ その他南部防災館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。 ・ 南部防災館の施設等の維持管理（知事が指定する補修等を除く。）に関する業務 ・ その他南部防災館の管理に関し知事が必要と認める業務
------------	--

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 2 名 会計年度任用職員 3 名 計 5 名			
	総轄責任者 海 陽 町 建設防災課 課 長 防災館担当者 海 陽 町 建設防災課 課長補佐 南部防災館 運営管理統括 責 任 者 館 長 南部防災館 事務・庶務業務 担当者 2 名			

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
	6 年度	1, 185	1, 373	661	1, 308	2, 081	575	1, 073	1, 296	1, 326	1, 306	415	1, 748	14, 347
	前年度	1, 155	1, 467	771	1, 513	2, 227	1, 139	1, 451	1, 355	1, 186	945	610	1, 705	15, 524
	前々年度	1, 322	1, 760	852	1, 465	2, 602	953	1, 472	1, 088	1, 239	868	737	1, 177	15, 535

※防災講座・訓練等の受講者数は除く。

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		令和 6 年度	令和 5 年度（前年度）	令和 4 年度（前々年度）	
収入	指定管理料	12, 913	12, 276	12, 276	
	利用料金収入	0	0	0	
	事業収入	0	0	0	
	その他	1, 879	645	952	
	計	14, 792	12, 921	13, 228	
支出	固定費	賃金	9, 264	7, 611	8, 061
		共済費	1, 281	1, 314	1, 358
		需用費	2, 034	2, 260	2, 390
		使用量及び賃借料	338	282	89
		負担金補助金及び交付金	33	33	33
		公課費	38	0	0
	運営費	旅費	230	89	98
		報償費	0	0	0
		役務費	505	329	413
		備品購入費	0	0	0
	維持管理費	委託料	1, 069	1, 003	786
		-	-	-	-
		-	-	-	-
		-	-	-	-
		-	-	-	-
	その他	-	-	-	
	計	14, 792	12, 921	13, 228	
収支		0	0	0	

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	①管理コストの削減 ・日常清掃や簡単な修繕は職員が実施 ②用紙類の使用量の削減 ・ミスプリント防止のため、使用前の設定確認及び設定リセット ・電子データの保存・共有によるペーパーレス化 ③エネルギー使用量等の抑制 ・不必要な電灯の消灯の徹底（不必要なOA機器等は電源を消すことにより節電。） ・常に水漏れの点検を行うなど節水 ・水道水の含有塩素の確保のための開栓は専門業者に確認し、必要最低限の回数とし、節水に努めている。
サービス向上の取組	・学校、各種団体、自主防災組織等に対し、直接働きかけることにより、また、WEBサイトに加えSNSを活用することにより利用の促進を図っている。 ・防災講座等を開催する上で、利用者が利用しやすい時間を事前に把握し、必要に応じ柔軟に対応 ・南部防災館に来ることができない学校や団体に対しては、出前講座等を実施 ・県、消防等の防災関係機関と連携するなど工夫して講座等を実施 ・防災関係機関が実施する訓練等には、積極的な協力を行っている。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	・防災備品、パネル展示 ・防災関係図書の貸出 ・心肺蘇生法、消防訓練など講習の実施 ・災害関係の動画放映 ・防災意識に関するアンケートの実施 ・自主防災組織などからの要望に合わせ、開館時間以外でも講習等実施するよう努める。 ・パンフレット・HPのリニューアル、講座内容のチラシを作成し学校関係を中心に広報
----------	--

8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・適宜アンケート調査を実施し、実施対象により質問項目に変化を付ける等、利用者ニーズの把握がされている。 ・利用者ニーズに対応し、柔軟な管理体制（供用時間の変更、出前講座の実施等）が実施されている。 ・WEBサイトに加えSNSを活用したPRができています。 ・自主防災組織等関係機関と連携を図り、研修や体験が行われている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・防災パネル展、防災備品の展示、地域住民の防災訓練の実施、防災に関する講習会の開催など施設目的に合致した自主事業が実施されている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・常に職員が巡回し、施設の管理がされている。 ・施設の清掃、簡易な保守管理や修繕等は、職員が行っている。 ・備品はチェック表により管理されている。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・印刷費の削減や省エネ活動等の実施により、削減に務められている。 ・職員が施設の修繕等を自ら実施するなどコスト削減の取組が行われている。 ・外部委託に係る事務は、適正に実施されている。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・管理運営業務体制に基づき、職員の配置や外部委託等が実施されており、適正な維持管理がされている。 ・研修、講演会への参加及び県の訓練等にも参加し防災啓発業務に係る職員の能力の向上を図っている。 ・現在まで利用者の苦情等クレーム事案の報告はない。 ・協定書に基づきセルフモニタリングを実施し、県への報告ができています。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・当施設の職員は、町の会計任用職員で、労働条件及び最低賃金は遵守されている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・当施設の職員は地元民から雇用されている。 ・物品等の調達も、地元業者から調達されている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・各小中高等学校、各自主防災組織及び事業者と連携し防災啓発が実施されている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・現在まで指定管理者の責めに帰すべき事故の報告はない。 ・個人情報保護は、町の条例で定められていて、周知されている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・太陽光パネルなどの活用による環境対策 ・まぜのおかと共に施設周辺の清掃作業の実施
⑪その他 ・指定取消要件の該当の有無 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制 ・当施設が県南部圏域の防災拠点の中核施設であることに対する自覚	A	・是正措置や指定の取り消し要件に該当する事案はない。 ・情報公開については条例化され、周知化されている。 ・県、防災関係機関が実施する防災訓練に積極的に参加している。 ・当施設に現地災害対策本部が設置された場合（県が直接管理することになる）、体制への支援や災害復旧活動の応援を行うことについて職員の心構えは出来ている。
総合評価	A	概ね協定書とおりの成果があり、適正な管理が行われている。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

- ・南部防災館が開館してから10年以上経過しており、修繕を計画的に行っていく必要がある。
- ・webサイトやSNSを活用した情報発信を行っているが、より利用者が増加するような方策を考える必要がある。
- ・巡回防災パネル展など新たな防災啓発の取組みを行っているが、更に防災啓発の機会を増加できるような工夫が必要である。
- ・住民の防災意識を高めるために、防災啓発の向上を図る必要がある。